

法人運営分野

改正社会福祉法に対応して、定款の変更、評議員選任・解任委員会の立ち上げ、選任・解任委員会による評議員の選任等、必要な手続きを順次進めました。併せて、社会福祉充実残高を試算し、社会福祉充実計画に盛り込む事業内容について検討を進めました。

会員の拡充と会費の確保は目標に達しませんでした。特別会費は前年より増額させることができ、地域福祉活動を通して住民と社協の関係が深まっていることを実感しています。

1. 理事会評議員会の開催. 監査の実施	(1) 理事会	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="427 465 667 667">5月25日(月)</td> <td data-bbox="673 465 1401 667"> <ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年度事業報告について ② 平成27年度一般会計決算について ③ 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について ④ 臨時職員等就業規則の改正について </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 676 667 795">10月28日(金)</td> <td data-bbox="673 676 1401 795"> <ul style="list-style-type: none"> ① 東員町による監査の報告 ② 平成28年度事業経過報告(9月末現在) ③ 改正社会福祉法について </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 804 667 1279">12月26日(月)</td> <td data-bbox="673 804 1401 1279"> <ul style="list-style-type: none"> ① 定款及び定款細則の改正について ② 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について ③ 理事選任規程の改正について ④ 監事選任規程の改正について ⑤ 評議員選任規程の改正について ⑥ 評議員選任・解任委員の選任について ⑦ 給与規程の改正について(給料表の改定) ⑧ 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について ⑨ 評議員選任候補者の推薦について </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1288 667 2054">平成29年 3月27日(月)</td> <td data-bbox="673 1288 1401 2054"> <ul style="list-style-type: none"> ① 役員に対する報酬及び費用弁償に関する規程の改正について ② 評議員に対する報酬及び費用弁償に関する規程について(創設) ③ 経理規程の改正について(社会福祉充実計画の創設) ④ 事務局規程の改正について(新たな職制を創設) ⑤ 給与規程の改正について(職制の創設に伴い給料支給の基準を改定) ⑥ 処務規程の改正について(職制の創設に伴い回議及び合議を改定) ⑦ 臨時職員等就業規則の改正について ⑧ 事務局長の選任について ⑨ 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について ⑩ 平成29年度事業計画(案)について ⑪ 平成29年度一般会計収支予算(案)について ⑫ 平成29年度予算中のサービス区分内流用と予備費の充用について </td> </tr> </table>	5月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年度事業報告について ② 平成27年度一般会計決算について ③ 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について ④ 臨時職員等就業規則の改正について 	10月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ① 東員町による監査の報告 ② 平成28年度事業経過報告(9月末現在) ③ 改正社会福祉法について 	12月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ① 定款及び定款細則の改正について ② 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について ③ 理事選任規程の改正について ④ 監事選任規程の改正について ⑤ 評議員選任規程の改正について ⑥ 評議員選任・解任委員の選任について ⑦ 給与規程の改正について(給料表の改定) ⑧ 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について ⑨ 評議員選任候補者の推薦について 	平成29年 3月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ① 役員に対する報酬及び費用弁償に関する規程の改正について ② 評議員に対する報酬及び費用弁償に関する規程について(創設) ③ 経理規程の改正について(社会福祉充実計画の創設) ④ 事務局規程の改正について(新たな職制を創設) ⑤ 給与規程の改正について(職制の創設に伴い給料支給の基準を改定) ⑥ 処務規程の改正について(職制の創設に伴い回議及び合議を改定) ⑦ 臨時職員等就業規則の改正について ⑧ 事務局長の選任について ⑨ 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について ⑩ 平成29年度事業計画(案)について ⑪ 平成29年度一般会計収支予算(案)について ⑫ 平成29年度予算中のサービス区分内流用と予備費の充用について
5月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年度事業報告について ② 平成27年度一般会計決算について ③ 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について ④ 臨時職員等就業規則の改正について 									
10月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ① 東員町による監査の報告 ② 平成28年度事業経過報告(9月末現在) ③ 改正社会福祉法について 									
12月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ① 定款及び定款細則の改正について ② 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について ③ 理事選任規程の改正について ④ 監事選任規程の改正について ⑤ 評議員選任規程の改正について ⑥ 評議員選任・解任委員の選任について ⑦ 給与規程の改正について(給料表の改定) ⑧ 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について ⑨ 評議員選任候補者の推薦について 									
平成29年 3月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ① 役員に対する報酬及び費用弁償に関する規程の改正について ② 評議員に対する報酬及び費用弁償に関する規程について(創設) ③ 経理規程の改正について(社会福祉充実計画の創設) ④ 事務局規程の改正について(新たな職制を創設) ⑤ 給与規程の改正について(職制の創設に伴い給料支給の基準を改定) ⑥ 処務規程の改正について(職制の創設に伴い回議及び合議を改定) ⑦ 臨時職員等就業規則の改正について ⑧ 事務局長の選任について ⑨ 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について ⑩ 平成29年度事業計画(案)について ⑪ 平成29年度一般会計収支予算(案)について ⑫ 平成29年度予算中のサービス区分内流用と予備費の充用について 									

- ⑬ 社会福祉法人経営労務管理改善支援事業費補助金について
- ⑭ 評議員会の日程と招集理由について

(2) 理事研修

理事が運営判断をするための材料として、以下の研修を行った。

① 開催日 11月19日(土)

会 場 : 津市サンデルタ香良洲

テ ー マ : 『生活困窮者の自立支援を考える研修会』

講 師 : 豊中市社会福祉協議会 勝部麗子氏

参加者 : 9名

(3) 評議員会

自治会長会副会長、社会福祉事業を運営する団体の役職員、ボランティア活動を行う団体の代表者を含め、21人の評議員が就任した。

[任期 平成28年4月1日～平成30年3月31日]

5月27日(金)	① 平成27年度事業報告について ② 平成27年度一般会計決算について ③ 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について
12月27日(火)	① 定款の改正について ② 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について
平成29年 3月28日(火)	① 理事及び監事の選任について ② 平成28年度一般会計収支補正予算(案)について ③ 平成29年度事業計画(案)について ④ 平成29年度一般会計収支予算(案)について ⑤ 平成29年度予算中のサービス区分内流用と予備費の充用について

(4) 監査

① 5月18日(水) 平成27年度事業報告・一般会計収支決算の監査

② 12月15日(木) 平成28年度前期事業経過・一般会計収支の監査

2. 戸別会員特別会員の募集

『ふくしのわ』春号に記載し全町民の方に呼び掛けると共に、自治会長会で協力をお願いした。

① 戸別会費は5月に実施し、2,847,579円の会費をいただいた。昨年度と比較し、26,853円の減額となった。5,695世帯(加入世帯率61.3%. 前年比98%) (自治会加入世帯を対象に算出した会員加入率74.7%. 前年比98%)

② 社協職員が31団体を訪問し、特別会員への加入を呼びかけた。

③ 特別会費は、7月から8月にかけて実施し、799,000円の会費をいただいた。昨年度と比較して43,000円の増額となった。(前年比105%)

④ 特別会員へお礼状と共に福祉のつどいの案内を送付し、会費によって地域福祉の啓発事業をしていることを伝えた。

⑤ 地域福祉座談会開催地区やシニアカレッジで、社協の役割と実績を説明した。

3. 苦情要望の受付

(1) 苦情の受付

今年度、苦情件数 10件

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア制度について ・ふれあいセンター内の設置機器について ・介護事業所での利用者等への対応について ・民生委員児童委員の活動について <p>それぞれのケースに対して真摯に対応し、改善を図った。</p>
4. 事務局体制の充実	<p>(1) 運営会議 社協全体に関わる課題について協議し調整し、業務執行に反映させた。 /毎月第1月曜日</p> <p>(2) 役席会議 実務担当者が現状と課題を報告し、意見交換することで情報の共有を図った。/年4回</p> <p>(3) 係長会議 8月3日(水) 通所型サービスCと一般介護予防事業の関わりについて</p> <p>(4) 連絡会議 毎週水曜日、各部署が直近の事業実施状況を共有した。</p>
5. 社協事業の適正化	<p>(1) 「事業評価票」を工夫し、10月から全業務を事業評価票によって以下の視点で評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域福祉の向上を目指す事業であるか ②社会情勢の変化など時の経過に即した事業実施になっているか ③住民のニーズに適応しているか ④費用対効果を考慮した事業実施になっているか。 <p>※①②の施設事業の評価項目は以下通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自分たちの仕事が地域福祉につながっているか ② 制度改正や地域の実情に応じたサービス内容になっているか
6. 職員のスキルアップ(職員研修)/役職員の倫理の向上	<p>(1) 全体研修</p> <p>① 講習 『苦情とは何か』 そもそも苦情とは何なのか、学んだ。 開催日：5月12日(木) 講師：(株)シンクアクト 志賀弘幸氏 参加者：職員 32人</p> <p>② 講習『コンプライアンスの意義と重要性』 コンプライアンスの徹底がサービスと信頼性の向上につながることを学んだ。 開催日：11月18日(金) 講師：(株)シンクアクト 志賀弘幸氏 参加者：職員 28人</p> <p>(2) 人権研修</p> <p>① 開催日：平成29年1月29日(日) 講師：道志真弓氏 参加者：職員 31人</p> <p>② 開催日：平成29年3月4日(土) 講師：タッピングタッチ協会 中川一郎氏 参加者：職員 8人</p> <p>(2) 総務福祉係</p>

	<p>① 事業別専門分野への研修を受講(会計担当者養成講習、生活福祉資金貸付担当者研修、支えあい活動の先進事例など)し、研修内容は係内で伝達した。</p> <p>② 支えあい活動の実施を地域福祉座談会へアプローチする手法とポイント制ボランティアの拡大について先進地から学んだ。</p> <p>6月14日(火) 浜松市社協 参加者5名</p>
7. 寄付金の受付と管理	<p>ご寄付者名を『広報とういん』に掲載した。</p> <p>今年度から寄付者名をホームページに掲載した。(毎月1回更新)</p> <p>寄附金額 2,555,316円(前年比87.2%)</p>
8. 日本赤十字社社資増強運動事業	<p>日本赤十字社強化月間に町内で啓発した。</p> <p>① 啓発活動 5月18日(水)三岐鉄道北勢線 東員駅 穴太駅 三重交通城山バス停</p> <p>② 社費の募集 5月 自治会長会で説明し募集を依頼</p> <p>平成28年度実績額 2,878,930円(前年比99%)</p>
9. 安全衛生委員会	<p>職員数が50人以上となったため、安全衛生委員会設置を検討した。</p> <p>安全衛生委員会の設置を目的として、規程の整備した。</p>

地域福祉分野

社会福祉協議会の設置目的は、社会福祉法により「地域福祉の推進を図ること」と規定されています。「住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現」をめざす（「新・社会福祉協議会基本要項」）ため「住民参加による地域福祉の推進」（全社協HP）を東員町社会福祉協議会としては地域福祉座談会という手法で実践しています。地域福祉座談会の新規開設数は目標に達しませんでしたでしたが、協議を経て地域課題を把握し実践に至った地区数は9地区中7地区になり、地域福祉の理念が広げることができました。

また、権利擁護事業では訪問対応により単なる金銭管理に留まらず生活を支えることができました。

1. 福祉のつどい	<p>地域福祉活動を行うことは、地域にお住まいの方のためだけではなく、自分の健康につながることを理解してもらい、暮らし方について意見交換していただいた。健康でいるために地域のつながりが必要だという気づきが多かった。</p> <p>日 時 平成29年1月22日(日)9:30~11:55 会 場 東員町保健福祉センター ホール テーマ 『地域で活動するあなたとあなたの地域はきっと健康長寿』 講 師 名古屋大学 地域在宅医療学・老年科学 講師 大西丈二 氏 参加者 76名</p>																												
2. 「ふくしのわ」発行事業	<p>4月15日 7月1日 10月7日 1月20日に発行し、地域福祉座談会の取組内容やふくしdeまちづくりプロジェクトについて広報を行った。また、地域の活動情報をより多く掲載した。</p> <table border="1" data-bbox="422 1099 1401 1966"> <thead> <tr> <th data-bbox="422 1099 544 1137">発行日</th> <th colspan="2" data-bbox="549 1099 1401 1137">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="422 1144 544 1272" rowspan="2">4月15日</td> <td data-bbox="549 1144 624 1182">表紙</td> <td data-bbox="628 1144 1401 1182">シニアカレッジ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 1189 624 1272">内容</td> <td data-bbox="628 1189 1401 1272">評議員紹介 社協会費・日赤社費 平成28年度事業計画・予算、共同募金実績報告 地域福祉座談会の案内</td> </tr> <tr> <td data-bbox="422 1279 544 1444" rowspan="2">7月1日</td> <td data-bbox="549 1279 624 1317">表紙</td> <td data-bbox="628 1279 1401 1317">地域福祉座談会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 1323 624 1444">内容</td> <td data-bbox="628 1323 1401 1444">中学校勤労体験 子育て支援ほっと 食中毒講習会 平成27年度事業報告・決算 特別会員募集 理事・評議員改選報告</td> </tr> <tr> <td data-bbox="422 1451 544 1617" rowspan="2">10月7日</td> <td data-bbox="549 1451 624 1489">表紙</td> <td data-bbox="628 1451 1401 1489">中上地区送迎ボランティア 瀬古泉地区カフェ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 1496 624 1617">内容</td> <td data-bbox="628 1496 1401 1617">社協戸別会費と日赤社費の報告 地域福祉座談会 寄付者への感謝状 共同募金運動 健康塾 シニアカレッジ 子育て支援ネット</td> </tr> <tr> <td data-bbox="422 1624 544 1742" rowspan="2">1月15日</td> <td data-bbox="549 1624 624 1662">表紙</td> <td data-bbox="628 1624 1401 1662">福祉のつどい</td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 1668 624 1742">内容</td> <td data-bbox="628 1668 1401 1742">社協特別会員 地域ボランティア制度 地域福祉座談会 勤労体験 リフレッシュ事業 日常生活自立支援事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="422 1749 544 1966" rowspan="2">1月20日</td> <td data-bbox="549 1749 624 1787">表紙</td> <td data-bbox="628 1749 1401 1787">笹尾東2丁目自治会もちつき大会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 1794 624 1966">内容</td> <td data-bbox="628 1794 1401 1966">シニアカレッジ修学旅行、地域福祉座談会、瀬古泉カフェ、中上外出サポート活動、子育て支援ほっと 子育てクリスマス会、中学校勤労体験、在宅介護者のリフレッシュ</td> </tr> </tbody> </table>	発行日	内容		4月15日	表紙	シニアカレッジ	内容	評議員紹介 社協会費・日赤社費 平成28年度事業計画・予算、共同募金実績報告 地域福祉座談会の案内	7月1日	表紙	地域福祉座談会	内容	中学校勤労体験 子育て支援ほっと 食中毒講習会 平成27年度事業報告・決算 特別会員募集 理事・評議員改選報告	10月7日	表紙	中上地区送迎ボランティア 瀬古泉地区カフェ	内容	社協戸別会費と日赤社費の報告 地域福祉座談会 寄付者への感謝状 共同募金運動 健康塾 シニアカレッジ 子育て支援ネット	1月15日	表紙	福祉のつどい	内容	社協特別会員 地域ボランティア制度 地域福祉座談会 勤労体験 リフレッシュ事業 日常生活自立支援事業	1月20日	表紙	笹尾東2丁目自治会もちつき大会	内容	シニアカレッジ修学旅行、地域福祉座談会、瀬古泉カフェ、中上外出サポート活動、子育て支援ほっと 子育てクリスマス会、中学校勤労体験、在宅介護者のリフレッシュ
発行日	内容																												
4月15日	表紙	シニアカレッジ																											
	内容	評議員紹介 社協会費・日赤社費 平成28年度事業計画・予算、共同募金実績報告 地域福祉座談会の案内																											
7月1日	表紙	地域福祉座談会																											
	内容	中学校勤労体験 子育て支援ほっと 食中毒講習会 平成27年度事業報告・決算 特別会員募集 理事・評議員改選報告																											
10月7日	表紙	中上地区送迎ボランティア 瀬古泉地区カフェ																											
	内容	社協戸別会費と日赤社費の報告 地域福祉座談会 寄付者への感謝状 共同募金運動 健康塾 シニアカレッジ 子育て支援ネット																											
1月15日	表紙	福祉のつどい																											
	内容	社協特別会員 地域ボランティア制度 地域福祉座談会 勤労体験 リフレッシュ事業 日常生活自立支援事業																											
1月20日	表紙	笹尾東2丁目自治会もちつき大会																											
	内容	シニアカレッジ修学旅行、地域福祉座談会、瀬古泉カフェ、中上外出サポート活動、子育て支援ほっと 子育てクリスマス会、中学校勤労体験、在宅介護者のリフレッシュ																											
3. ホームページ	常に新しい情報を発信し、新着情報の枠を広げて、いつでも最新情報を把握																												

運営	<p>できるようにした。 フェイスブックを立ち上げた。 * 総アクセス件数 961,269件 (前年比361%)</p>							
4. 民生委員児童委員協議会との協働	<p>民生委員児童委員協議会の事務局を担い、定例会、役員会の事務を担った。 * 定例会/8回 * 役員会/8回 * ブロック別の活動、分野別活動を事務局として支援した。</p>							
5. 地域福祉座談会	<p>(1) 地域福祉座談会の開催(9地区・全自治会の約39%で実施)</p> <p>① 説明した自治会 6月23日(木) 笹尾東3丁目</p> <p>② 継続している座談会及び開始した座談会 平成25年度～ 中上地区 笹尾東4丁目地区 平成26年度～ 瀬古泉地区 八幡新田地区 筑紫地区 平成27年度～ 笹尾東2丁目地区 大木地区 穴太地区 平成28年度～ 笹尾西1丁目地区</p> <p>③ 開催に向けて調整中の自治会 長深地区自治会</p> <p>(2) 実施状況</p> <table border="1" data-bbox="427 1144 1401 2038"> <tr> <td data-bbox="427 1144 507 1749">① 中上地区</td> <td data-bbox="507 1144 707 1749"> <p>5月16日(月)</p> <p>8月23日(火)</p> <p>10月15日(土)</p> <p>12月22日(木)</p> <p>3月21日(火)</p> </td> <td data-bbox="707 1144 1401 1749"> <p>年間12回開催 イオン⇄中上送迎ボランティア要綱とチラシを検討した。6月17日(金)からボランティア募集する。しゃべり場について協議。</p> <p>イオンでの乗降場所決定、保険加入、車両貸出の申請完了。利用者募集チラシ作成(9/2各戸配布)広報の方法を検討。9月以降のしゃべり場を検討 外出サポート活動初日。2台の車両を使用。16人が利用。</p> <p>2月3月は社協の車両を使用できないので魚良に協力を求めることになった。五和会の入会者を拡大させることになった。</p> <p>外出サポート活動の活動日を検討し、利用者のみなさんの意向をたずねることになった。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1749 507 2038">② 笹尾東4丁目</td> <td data-bbox="507 1749 707 2038"> <p>5月28日(土)</p> <p>7月16日(土)</p> </td> <td data-bbox="707 1749 1401 2038"> <p>年間7回開催 メンバー交代により、社協から座談会の趣旨説明今年度も地区全体でラジオ体操に取り組む。 資源ゴミを出せない人を調査することになった。 夏休みのラジオ体操の確認。敬老会の詳細を決定 資源ゴミ回収に困っている人を把握するため見守り報告書にアンケートをつけた。</p> </td> </tr> </table>		① 中上地区	<p>5月16日(月)</p> <p>8月23日(火)</p> <p>10月15日(土)</p> <p>12月22日(木)</p> <p>3月21日(火)</p>	<p>年間12回開催 イオン⇄中上送迎ボランティア要綱とチラシを検討した。6月17日(金)からボランティア募集する。しゃべり場について協議。</p> <p>イオンでの乗降場所決定、保険加入、車両貸出の申請完了。利用者募集チラシ作成(9/2各戸配布)広報の方法を検討。9月以降のしゃべり場を検討 外出サポート活動初日。2台の車両を使用。16人が利用。</p> <p>2月3月は社協の車両を使用できないので魚良に協力を求めることになった。五和会の入会者を拡大させることになった。</p> <p>外出サポート活動の活動日を検討し、利用者のみなさんの意向をたずねることになった。</p>	② 笹尾東4丁目	<p>5月28日(土)</p> <p>7月16日(土)</p>	<p>年間7回開催 メンバー交代により、社協から座談会の趣旨説明今年度も地区全体でラジオ体操に取り組む。 資源ゴミを出せない人を調査することになった。 夏休みのラジオ体操の確認。敬老会の詳細を決定 資源ゴミ回収に困っている人を把握するため見守り報告書にアンケートをつけた。</p>
① 中上地区	<p>5月16日(月)</p> <p>8月23日(火)</p> <p>10月15日(土)</p> <p>12月22日(木)</p> <p>3月21日(火)</p>	<p>年間12回開催 イオン⇄中上送迎ボランティア要綱とチラシを検討した。6月17日(金)からボランティア募集する。しゃべり場について協議。</p> <p>イオンでの乗降場所決定、保険加入、車両貸出の申請完了。利用者募集チラシ作成(9/2各戸配布)広報の方法を検討。9月以降のしゃべり場を検討 外出サポート活動初日。2台の車両を使用。16人が利用。</p> <p>2月3月は社協の車両を使用できないので魚良に協力を求めることになった。五和会の入会者を拡大させることになった。</p> <p>外出サポート活動の活動日を検討し、利用者のみなさんの意向をたずねることになった。</p>						
② 笹尾東4丁目	<p>5月28日(土)</p> <p>7月16日(土)</p>	<p>年間7回開催 メンバー交代により、社協から座談会の趣旨説明今年度も地区全体でラジオ体操に取り組む。 資源ゴミを出せない人を調査することになった。 夏休みのラジオ体操の確認。敬老会の詳細を決定 資源ゴミ回収に困っている人を把握するため見守り報告書にアンケートをつけた。</p>						

③	11月16日(水) 平成29年 1月13日(金)	見守りの実施要領(案)を決定した。 規約と見守り実施要領の修正、見守り会議、自宅開放カフェの必要性を確認し進め方を決めた。
	瀬古泉地区 6月18日(土) 8月27日(土) 12月17日(土)	年間6回開催 魅力あるサロンを月2回開催することになった。 瀬古泉カフェの企画。 10月12日(水)開始 毎週第2水曜日13:30~16:30 継続するための検討を続け、新たに日曜日に開催するカフェの企画についても検討した。
	④ 八幡新田地区 7月20日(水) 1月25日(水)	年間4回開催 悪徳商法被害を防止するためには認知症予防をする必要があり、そのためには日頃からのさりげない見守りが必要だという結論になった。見守り対象をひとり暮らしの人(日中独居は除く)とした。 見守りのしくみと見守り活動実施要領の内容を検討し、班長に配布するチラシの内容を見直した。
	⑤ 筑紫地区 6月11日(土)	年間1回開催 メンバー交代により、社協から座談会の趣旨説明夏休みに子どもが行うラジオ体操に大人も参加するよう案内することになった。
	⑥ 区 笹尾東2丁目地 5月31日(火) 10月11日(火)	年間2回開催 改めて座談会の趣旨を説明した。今年度も子ども会と自治会と一緒に除草作業すること、さらに関係を深めるため、餅つき大会をしてはどうか話し合った。 笹尾一斉清掃の取組み内容の成果と課題を協議した。また年末に予定している餅つき大会の具体的な内容を検討した。
	⑦ 大木地区 4月24日(日) 8月4日(木) 平成29年 3月15日(水)	年間6回開催 防災訓練で、地域福祉座談会を説明した。標語の最優秀賞、優秀賞を表彰した。 65歳以上ひとり暮らし世帯、75歳以上のみ世帯を再訪問して得た内容を情報交換した。 「可燃ゴミを集積場まで運ぶお手伝い」の企画。 対象者宅を再訪問して、必要度を確認することになった。
	⑧ 穴太地区 6月25日(土) 9月10日(土) 2月11日(土)	年間5回開催 2ヶ月に1回、コーヒーを飲みながら映画を見る会を催すことになった。 65歳以上ひとり暮らし高齢者を対象に、さりげない見守りに取り組むことになった。 今後、映画を見る会を催して、カフェ活動の機運を高めることになった。
	⑨ 丁 笹尾西地区1 9月24日(土) 1月21日(土)	年間2回開催 自治会長、自治会役員、民生委員、サロンの運営者とサロン参加者に座談会の説明、他地区の状況の説明をした。 サロンと“ごきげんよう”の運営を話しあった。

6. 生活支援コー
ディネーター

1. 担い手養成

(1) 町内、他市町の居場所づくり・支え合い活動の見学研修
カフェ活動に関心を持った方に、お考えに合う町内及び桑名市・四日市市

の先進事例を紹介し、見学研修を行った。

見学先：桑名市小貝須いきいきカフェ、桑名市地藏元気クラブ、桑名市
きいろいおうちカフェ、桑名市サロンドハル、瀬古泉カフェ、
笹尾東4丁目“お茶しませんか”、憩いのひろば、四日市市平津
新町おしゃべりカフェ、

参加のべ人数 58人

(2) シニアリーダー養成講座

地域で生活支援の担い手として活躍できる人材を育成することを目的として、三重県社協・東員町と共催した。

①	日 時 テーマ 参加者	平成29年1月30日(月) このまちでどう生きるか、どう支えるか 36人
②	日 時 テーマ 参加者	平成29年2月13日(月) できる範囲でできることを～100円でできる?～ 86人
③	日 時 テーマ 参加者	平成29年2月27日(月) 夢の地域を描こう 38人

【講座終了後】

- * 筑紫パープル^{ファイブ}5が結成され、カフェ活動に取り組み始めた。
- * 自宅カフェを考慮してもらえる方への地域の支援が活発になった。
- * 鳥取カフェ(名称を考え中)
瀬古泉カフェ、桑名市地藏元気クラブに見学に行き、4月から毎月1回
地域住民を対象にしたカフェを開始する。
- * ^{ロク}六ちゃんカフェ
4回目の講座で瀬古泉カフェの方から助言を受けて計画を練った。5月
から毎月1回、就学前の乳幼児と親、シニアが集うカフェを開始する

(3) 支えあい活動の説明と事例紹介

地域内で声を掛け合えれば“支えあい”が成立することを伝えるためカードゲーム「支えあいゲーム」を製作し、各地区のサロンで実施して啓発した。また、東員町内及び他市町の実践例の動画を作成して各地域に出向き映像で実践例を紹介した。

“支えあい”の意義と共に“居場所”(カフェ)が大切であることを説明したうえで支えあい意識を心に刻んでいただくためにアンケートを行った。さらに、アンケート結果をサロン運営者に提供して今後の活動の発展を促した。

(4) “支えあい”創出に向けた情報提供

- ① 活動を考えている団体や個人にボランティア活動保険や送迎サービス補償を説明し、利用の手続きをした。
- ② カフェ活動でコーヒー等飲料を提供する際の許認可について、説明用資料を作成して保健所から添削指導をうけた上で説明した。
- ③ カフェ立ち上げのための経費を、試算表を作成して説明した。(4地区)
その他、サロン関係の方などにさまざまな場でお知らせした。
- ④ 助成金の種類別に対象事業を表にまとめたチラシを作成して説明した。また、活動者が申請しやすいように『補助金申請の手引き』を作成した。さらに、申請に不安がある活動者には申請書類の作成に立ち会い、書き方を伝えた。
- ⑤ 支えあい活動・シルバー人材センター・地域ボランティアの特徴と違いを表にまとめて説明した。
- ⑥ 活動主体になっている座談会が地域に定着するよう、座談会の規約と個人情報ルールのルールを明確にすることを提案し、整備を支援した。(5地区)
- ⑦ アンケート調査の種類と特徴を説明し、調査を支援した。
- ⑧ 各地区の高齢化率と地区ごとの人口構成のグラフを作成し、視認性を高めて情報提供した。(7地区)
- ⑨ シルバー人材センターが送迎できる条件や介護タクシーの利用など、地区内の送迎の可能性について調べて情報提供した。
- ⑩ 自宅開放によるカフェを計画される方へ、活動が地域で認められるための進め方や安全に活動するための工夫を助言、また、活動意欲が維持される

	<p>よう働きかけた。</p> <p>⑪ 見守り体制のしくみのフロー図を考案した。また、企業の見守りサービスの一覧表を作成して、民間サービスの可能性を提示した。</p> <p>⑫ “カフェ”の基準を設定した。</p> <p>⑬ “支えあい”活動の基準を考察し、長寿福祉課に提案した。</p> <p>⑭ 政策課主催「シニア会議」に出席し、地域福祉座談会、地域活動について説明した。</p> <p>2. 長寿福祉課との打ち合わせ/年間19回</p> <p>3. 町内の活動の把握 地域で行われている居場所づくりやサロン活動として「モーニングを食べてバスで帰ってくる会」「カラオケの会」などを把握した。</p> <p>4. 近隣市町の事例の調査 支えあい活動の見本になり得る事例を町内及び近隣市町でさがして調査に出向き撮影した。撮影したものを動画に編集し、サロンや座談会で具体例として示した。</p> <p>5. その他</p> <p>① 県内のいくつかの社協や行政から活動や生活支援コーディネーターの業務について問い合わせがあった。</p> <p>② 笹尾西・東地区全サロンとシニアクラブ、長寿福祉課との打ち合わせに出席した。</p> <p>③ 学習支援活動をしたい方から相談があり助言した。</p>
7. 担い手養成	<p>住民主体で地域の住みやすさを追求し事業を立ち上げた具体例や手法を伝えた。</p> <p>① 浜松市社協の支えあい実践例を説明した 6月24日(金) 地域福祉推進協議会 参加者 13名</p>
8. 活動支援	<p>地域福祉の向上に資する活動や団体に助成した。</p> <p>(1) 地域福祉活動助成事業 地域福祉座談会を通じて生まれた活動に要する経費の一部を助成した。</p> <p>① 笹尾東4丁目地域福祉座談会 50,000円 地域活動の際に使用する座椅子と短机</p> <p>② 瀬古泉の暮らしを考える会(瀬古泉地区地域福祉座談会) 96,000円 カフェ開催時にDVDを流すためのテレビ</p> <p>③ 大木地区地域福祉座談会 38,000円 見守り標語応募者への賞品代、チラシ印刷代</p> <p>④ 中上地区見守り会議(中上地区地域福祉座談会) 100,000円 チラシ印刷代、チームジャンパー製作費、マグネットシート製作費</p> <p>(2) 環境の整備</p> <p>① 事務作業応援コーナー 地域福祉活動に取り組む個人、団体が自由に使用できる事務作業コーナーを設置し利用を促進した。 * 複合機の利用実績/白黒1018枚 カラー104枚</p> <p>② ボランティア保険 安心して活動するため、ボランティア活動保険の加入を勧めた。 * ボランティア活動保険加入実績/935件</p>
9. 地域福祉推進協議会	<p>各地域福祉座談会、各団体・機関が実施状況を発表し、共有した。また、浜松市社協の地域たすけあい活動を伝達した。さらに、開催年度別に分かれて現在の座談会の進捗状況や課題をより詳細に発表し意見交換した。</p> <p>① 日 時 6月24日(金) 13:30~15:00 会 場 ふれあいセンター 研修室 テーマ 活動紹介と情報交換 参加者 地域福祉座談会代表等13人 (地域福祉座談会代表10名、民生委員1名、シニアクラブ1名、シルバー人材センター1名)</p> <p>② 日 時 平成29年3月1日(水) 会 場 ふれあいセンター 研修室 参加者 地域福祉座談会代表等14人 (地域福祉座談会代表11名、民生委員1名、シニアクラブ1名、シルバー人材センター1名)</p>
10. 社協行政連	(1) 社協行政連絡調整会議

<p>絡調整会議/地域福祉施策検討会議</p>	<p>社協・東員町役場福祉部4課の実務担当者が集まり、社協の事業内容や地域福祉全般に意見交換した。 日 時 平成29年3月7日(火) 会 場 ふれあいセンター 研修室 参加者 町民課、地域福祉課、健康づくり課、長寿福祉課、社協の実務担当者 内 容 社協の平成29年度事業計画を元に、意見交換した。</p>
<p>1 1. ひとり暮らし高齢者交流会</p>	<p>在宅のひとり暮らし高齢者を対象に、閉じこもり防止や孤独感の解消、仲間づくり等を目的に、全地区合同で開催した。 委託先 東員町民生委員児童委員協議会 日 時 6月20日(月) 会 場 保健福祉センター ホール 参加者 107名 内 容 地域のボランティアによる踊り(フラダンス、阿波踊り)、歌声広場、地域のボランティアによる手作り弁当での会食</p>
<p>1 2. 生活支援型配食サービス事業</p>	<p>在宅のひとり暮らし高齢者や要援護高齢者等に昼食を配達するとともに安否確認し、留守の場合は改めて自宅を訪問して状況を確認した。 (1) 配食 * 委託先/社会福祉法人いずみ * 月曜日から金曜日の中で希望する日 * 個人負担金 300円(減額対象者2名 150円) * 利用食数4,466食 利用登録者22名 利用実人数1日平均18人 (2) 安否確認 配達時に留守で安否確認した件数 1件 家族・民生委員に連絡した件数 7件</p>
<p>1 3. ふれあい型配食サービス事業</p>	<p>ひとり暮らし高齢者を中心とした対象者に、ふれあいを目的に昼食を配達した。 (1) 配食 * ボランティアが調理・配達 ※一部業者委託 * 第2・4火曜日と第1~4金曜日の希望する日 * 個人負担金 300円 * 利用食数1595食 利用登録者26名 利用実人数1日平均 22人 (2) 安否確認 配達時に留守で安否確認した件数 1件 家族・民生委員に連絡した件数 9件 (3) 食中毒講習会 調理に関わるボランティアを対象に実施した。 日 時 平成28年6月17日(金) 内 容 食中毒予防について 講 師 桑名保健所 参加者 わくわくボランティア及び東員町食生活推進協議会の方々 20名</p>
<p>1 4. シニアカレッジ事業</p>	<p>シニアカレッジを受講することによって地域福祉に関心を持ってもらい、卒業後、地域福祉活動のリーダーになっていただけるように取り組んだ。 45.8%の方がシニアカレッジを機会に地域に関心をもつようになった。 開催日 6月~3月までの月1回 会 場 ふれあいセンター等 受講生 33名 内 容 東員町の現状について(東員町長)、地域デビューについて(美し国おこし三重)、地域見守り活動の実際について(奈良市社協)、地域の実践活動について(地域福祉座談会開催自治会)、東員町の高齢化の現状について(東員町役場)</p>
<p>1 5. 介護予防事業</p>	<p>はつらつと暮らす高齢者を応援し、地域で介護予防意識を普及啓発する人材を養成した。 * 5月~ 1回/月 訪問介護のサービス内容の解説、すきま時間を使った体操、病気の付き合い方予防等。 * 参加者 49名(内新規18名)</p>
<p>1 6. 地域ボランティア制度</p>	<p>地域ボランティア制度への登録をきっかけに地域福祉に目を向けてもらえるよう、登録説明会では地域福祉に関して意見交換する時間を設けた。</p>

	<p>①広報したところ 6/15大木、6/13中上 6/18瀬古泉、6/25穴太 6/24地推協</p> <p>②登録者の交付金転換率 49人登録36人転換(転換率約73.5%)</p> <p>③交付金転換していないが活動している人数 5人</p> <p>④地域ボランティア制度について行政との打ち合わせ/15回</p> <p>⑤ホームページ(ブログ掲載等)、広報とういん、シニアcafe等で広報した。</p> <p>⑥登録者説明会の開催/14回</p> <p>⑦登録状況/登録者49名・活動先23カ所(12/2.社協地域福祉分野で登録)活動のべ時間1,801時間</p> <p>⑧登録者と活動先とのマッチング/5回</p> <p>⑨登録者交流会の開催/8/30(大井先生による講演会),2/9(1年振り返り)</p> <p>⑩園長会(5/12)、教頭会(5/31)、介護保険事業所等代表者会議(5/18)に出席してPR</p> <p>⑪新しいチラシ作成/折込・戸別配布(10/28)</p> <p>⑫各学校打ち合わせ(神田小10/27、一中11/1、西小11/2、二中12/7 神田小反省会3/23)</p>
17. 家族介護継続支援事業/家族介護教室 [リフレッシュ事業]	<p>介護から一時的に離れる機会を提供したり、適切な介護方法を伝えることで家族の身体的精神的負担を軽減した。</p> <p>* マッサージなどリフレッシュルーム、オムツ教室などの家族介護教室実施の際は必ず座談会を催して交流を促した。</p> <p>1回/2ヶ月 開催 延べ参加人数 42名</p>
18. 心配ごと相談事業/無料弁護士相談	<p>弁護士・一般相談員(有資格者・学識経験者・民生委員)が相談に応じた。特に、法律的な相談に対して弁護士が助言や専門機関の紹介をした。</p> <p>* 毎月5日(土・日・祝の場合は翌日)及び第3日曜日</p> <p>心配ごと相談及び弁護士相談開催回数 24回</p> <p>相談件数 87件</p>
19. 当事者団体等の育成支援	<p>① 東員障がい児者友の会 各種事業の企画・開催支援、広報活動の支援等</p> <p>② 東員町障がい児(者)親の会 ボランティア募集等の広報支援</p> <p>③ 東員町遺族会 県戦没者追悼式の参加支援、町戦没者追悼式の開催協力 行政との連絡調整等</p> <p>④ いなべ地区視覚障がい者協会 団体運営にかかる支援</p> <p>⑤ いなべ市聴覚障がい者福祉協会東員支部 団体運営にかかる支援</p> <p>⑥ 東員町福祉事業所連絡協議会 団体運営・企画実施にかかる支援</p> <p>⑦ 東員町シニアクラブ連合会 理事会・企画委員会への参加、各種事業の開催・広報活動の支援</p> <p>⑧ 東員町母子寡婦福祉会 広報活動の支援、三重県母子寡婦福祉大会への参加支援</p>
20. 子育て支援事業	<p>子育ての当事者が仲間を作り、また、住民が子育て支援活動を通して自身の生きがいを作れるよう、地域で集まる機会をつくった。</p> <p>委託先 子育て支援ネット</p> <p>(1) 子育て応援ルームの運営 開催日 月・水/週 延べ94日 会場 ふれあいセンター2階 ふれあいの間 参加者 延べ947人</p> <p>(2) イベントの開催 開催日 概ね月1回 会場 ふれあいセンター2階 内容 歌・マジックショー、七夕まつり、救命救急講座、クリスマス会 リズム遊び、こそだておうえんミニフェスタ</p> <p>(3) 子育て支援「ほっと」 開催日と会場 山田公民館(5/20)、南大社研修センター(9/16) 北大社構造改善センター(11/25)、笹尾コミュニティセンター(2/17)</p>

	<p>内容 他の親子との交流、お茶会、おもちゃ遊び、歌遊び等</p> <p>(3)子育て支援ネット会議への参加</p> <p>開催 概ね月1回</p>
2 1. 災害ボランティアセンター	<p>今年度の目標を災害ボランティアセンターの実践的な開設とし、東員町防災訓練の見学や協議を進めた。</p> <p>① 企画会議の開催(毎月1回)</p> <p>参加者 民生委員、障がい当事者、福祉事業関係者、行政、防災活動者等</p> <p>② 災害ボランティアセンター開設を考慮した取組み</p> <p>9月4日(日) 東員町総合防災訓練を見学</p> <p>来年度の開設場所等を協議した</p>
2 2. 町内福祉事業所連絡会	<p>町内福祉事業所間の情報交換と福祉職員の資質向上、地域福祉課題解決のため、分野を超えた福祉専門機関のネットワーク作りに取り組んだ。</p> <p>* 4月20日(水) 役員会：総会と第2回以降の研修会に向けて</p> <p>* 5月20日(金) 総会と第1回研修会</p> <p>事業所発表会「社会福祉法人いずみの紹介・計画相談の現状について」</p> <p>発表事業所 社会福祉法人いずみ 相談支援専門員 吉田雅行氏</p> <p>「接遇研修」おもてなし道 山田千穂子氏 参加者 82名</p> <p>* 10月12日(水) 第2回研修会</p> <p>事業所発表会 「ホームヘルパーの仕事とは」</p> <p>発表事業所 東員町ホームヘルパーステーション 管理者 安田雅子氏</p> <p>研修 「苦情とは何か?その対応方法について」</p> <p>株式会社シンクアクト 代表取締役 志賀弘幸氏 参加者70名</p> <p>* 10月26日(水) 役員会：1.2回の研修会の反省・第3回研修会と29年度事業計画</p> <p>* 2月2日(木) 役員会：第3回研修会と29年度事業計画について</p> <p>* 2月15日(水) 第3回研修会</p> <p>東員町福祉事業所管理者交流会 参加者 33名</p>
2 3. 障がい児者の地域生活に関する学習	<p>東員町福祉事業所連絡協議会、平成28年度第1回研修会で(5/20)社会福祉法人いずみの事業所紹介と、障がい者(児)の計画相談員から計画相談の現状聞くことができ、介護保険の事業所で働く職員も、障がい児者の生活を知ることができた。</p>
2 4. 共同募金委員会の活動支援	<p>共同募金運動の広報活動と東員町共同募金委員会の運営を事務局として支援した。</p> <p>(1) 広報</p> <p>* 『ふくしのわ』(10/7発行)ホームページで運動情報を発信</p> <p>* 啓発ポスター、チラシを町内各所へ配架</p> <p>* 共同募金の趣旨や用途に特化した町独自のPRチラシを作成</p> <p>(2) 運営</p> <p>* 運営委員会(6/13.9/27.)の開催</p> <p>* 三重県共同募金会主催の会議に参加 2回</p> <p>(3) 募金運動</p> <p>共同募金運動への協力依頼</p> <p>* 東員町自治会長会</p> <p>* 東員町商工会理事会、東員町シニアクラブ連合会理事会</p> <p>* 東員町校長会、東員町園長会</p> <p>* 商工会</p> <p>* 町内の商店法人企業</p> <p>(4) 東員町共同募金のつどいの開催</p> <p>目的 共同募金のしくみと意義を改めて学び、各団体が配分金を活用して実施した事業と募金運動を発表した。</p> <p>日時 2月10日(金) 18:00~19:00</p> <p>会場 東員町ふれあいセンター 会議室1</p> <p>テーマ 「共同募金は、こんなに幸せを運んできます。」</p> <p>内容 共同募金配分団体から、今年度の共同募金の活用方法と効果を発表した。</p> <p>参加者 26名</p>
2 5. 総合型介護予防事業	<p>* 講座の終了時には役場担当課と評価会議を行った。(9月7日)</p> <p>* 総合型介護予防事業 47日/4~3月 延べ参加人数 340名</p>

	<ul style="list-style-type: none"> * 生活体力づくり 36回/5~3月 延べ参加人数 269名 * はつらつ教室 70回/5~3月 延べ利用人数 684名 * おたっしや教室 36回/5~3月 延べ利用人数 124名
26. 福祉有償運送事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 対象となる利用者の依頼に応じている。 ② 介護度の高い利用者は、往診を利用するケースが、多いので、福祉有償の利用回数は、月、2回~4回である。 ③ ケアマネからの依頼は少ないのが実情 ④ すべて軽リフト車で対応している。
27. 介護タクシー一助成事業	<p>要支援者に介護タクシー券(年間2,000円分)を発行し、在宅高齢者の外出を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 2,000円助成/年 * 20名申請・交付 (申請率:17%) 協力事業所7事業所
28. 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)	<p>日常金銭管理を生活支援員と共に行った。ケースの中には相談支援員や行政職員と協議して実施することもあった。また、利用者が安心して生活できるかぎりその方の生活テンポに合わせて支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 権利擁護事業利用者9名 * 生活支援員3名(男性2名 女性1名) * 相談件数 1件 * 支援回数147回(支援員83回 推進員64回) (日常生活の出金、公共料金の支払い、諸手当の受け取りの手続き) 内、臨時支援42回 (浪費や物の破損などによる緊急なお金の出金)
29. 日常的金銭管理サービス事業	<p>判断能力のある概ね65歳以上の高齢者や20歳以上の身体障がい者等を対象に金融機関の手続きを代行した。</p> <p>*日常的金銭管理サービス利用者 1名 相談件数 2件</p>
30. 公的資金貸付事業.生活困窮者自立相談支援	<p>(1)生活福祉資金貸付等 生活福祉資金貸付や生活費などの相談に対応し、申請、償還指導等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用相談 14件 ② 調査委員会 1件 ③ 貸付決定 1件 ④ 完済 1件 ⑤ 滞納者面談 総合支援資金 1件(再猶予申請の支援をした) ⑥ 貸付状況 福祉費 2件 緊急小口資金 4件 教育支援資金 6件 総合支援資金 1件 ⑦ 償還率 福祉資金 7.6% 緊急小口資金 8.8% 教育支援資金 9.0% 総合支援資金 0.0%
31. 車いす・スロープ貸し出し事業	<p>短期間あるいは緊急に車いす等が必要な方に無料で貸し出した。また、そこで得た情報を民生委員に提供し、地域の福祉支援に役立てた。</p> <p>貸出件数 車いす99件 スロープ5件 貸出理由 通院29件 買い物8件 一時退院14件 日帰りの娯楽や行楽12件 旅行18件 通学0件 その他18件(屋内移動)</p>

介護保険サービス、障がい者福祉サービス分野

サービスの提供にあたっては、各部署ともニーズに応じた対応ができるよう、職員体制を整え提供プログラムの充実・研修への参加により、職員の資質向上を図った。又、リハビリ機器を導入し、機能訓練を強化した。

収支については、後半において目標達成ができ、結果、施設事業全体として27年度と比較し、大幅な収支の改善ができた。

1. 訪問介護・介護予防訪問介護	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎日型で、朝、夕利用するケースが多く、ヘルパーのシフトを組むことが厳しい状況が続いている。 ③ 登録ヘルパーの募集をし、3名の応募があった。まだまだ訪問が集中する朝、夕のヘルパーの数が足りない。募集は引き続き行っている。 ③ 6月に登録ヘルパー賃金改定をした。 総利用者数 7,901人
2. 障がい児者訪問介護事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 上半期は2名の新規依頼があり、訪問件数は増加している。 ② 関係機関との連携を強化した。 総利用者数 1,103人
3. 通所介護事業所・予防通所介護	<ul style="list-style-type: none"> ① 4台の運動機器を導入し新しく筋力トレーニングができるメニューを追加した。 ② インカム(無線通話機器)を導入しサロン、特浴、一般浴との連携が密になり人員の削減や無駄な動きを無くすことが出来た。 ③ 趣味活動メニューの増加 (2種類→7種類) ④ 更新時に要介護から要支援に認定される利用者が増えた。 ⑤ 運動を目的とした利用者が増加 ⑥ 送迎方法の見直しを行っている ⑦ 部署内研修を6回行った ⑧ デイサービス運営会議を5回行った。(会長・局長・係長・管理者・サービス統括責任者参加) ⑨ 積極的に新規利用の受け入れを行い、各曜日の登録者が35名以上となる ⑩ 苦情件数7件 ⑪ 地域ボランティアの受け入れ 10名 ⑫ 勤労体験学習生の受け入れ 4校 8名 ⑬ いなべ市東員町地域リハビリテーション連絡会 2回参加 ⑭ いなべ医療介護フェアに出展 ⑮ 定員35名から40名に変更(2月より) ⑯ 既存の特別浴室内に、2～3人が同時に入れる浴槽の増設工事を行った 総利用者数 8,624人
4. 日中一時支援事業所	<ul style="list-style-type: none"> ① 家族のニーズにあわせ突発的な利用を受け入れた ② 生活介護への移行を模索検討中 ④ 登録者数 7名
5. 居宅介護支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業所内ケアプラン点検の一環として、各ケアマネのケアプランを定例会で提示し、意見交換をする機会を設けた。 ② ケアプランの作成をする上で、個別課題を生活支援コーディネーターにつなぐことの再確認した。 ③ 担当件数については、個人の目標値をめざし、受け入れを行うことで、実績が上向いた。 ④ 看取りに関わった件数 9件
5. 事業障がい者・障がい児計画相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児のサービス事業所が開設されたこともあり、児童の新規依頼が昨年より大幅に増加、また就園から就学への進級によるサービス計画の更新も増加している。 ・障がい者の新規依頼は昨年より減少しており、それに伴いモニタリング総数も減少している。 ・障がい(身体・知的・精神)・児童・基幹型相談を対象とした研修・会議に参加した。 ・障がい者 110件(新規4件、更新14件、変更1件、モニタリング83件) ・障がい児 73件(新規14件、更新10件、変更1件、モニタリング42件)